



オンラインひろば「ゆるりゆらり」の試み2021



武蔵野大学しあわせ研究所「そだてるしあわせ」チーム
前廣美保(通信教育部)・矢澤美香子(人間科学部)・義永睦子(教育学部)・山本由子(東京医療保健大学)

「そだてる×しあわせ」を語る場



人と人とのつながりが弱くなりそうな社会状況だからこそ、自分のことを話す時間が必要である。仕事や家事の合間に、画面の向こうの仲間と出会う時間を楽しんでもらえるように、ホームページとオンラインサロンを開設した。

子育てに関わる主に母親(女性)の多様な局面における困難や孤立を解消し、仲間とつながりを保ち、各地での子育て支援活動が活発になる種まきをすることで「そだてるしあわせ」をカタチにする。

オンラインひろば「ゆるりゆらり」は、妊娠・出産・子育てを中心とした、日常の経験や思い、疑問などを自由におしゃべりする場。2018年に武蔵野キャンパス内で「しょうがい」をテーマにした子育てひろばを始め、2020年からはオンライン開催で空間を超えたつながりと話題の広がりが生まれた。

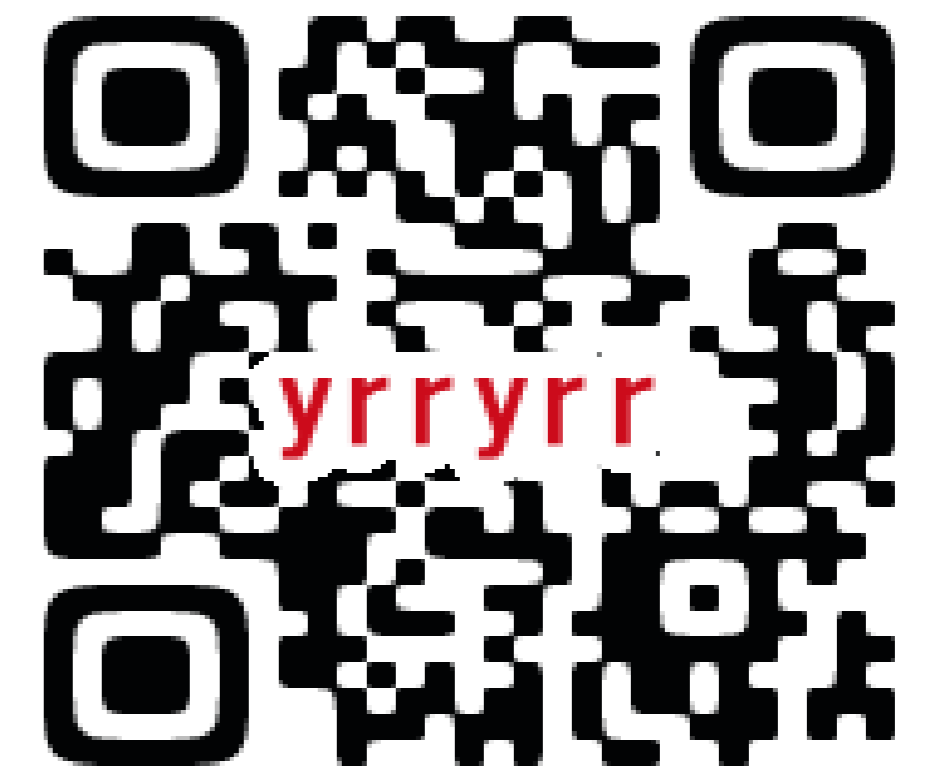


2021年度の開催【全6回・延べ16名参加】11月現在

- ① 6月30日(水) 19:30~21:30 参加2名
- ② 7月17日(土) 9:30~11:30 申込なしキャンセル
- ③ 7月28日(水) 19:30~21:30 申込なしキャンセル
- ④ 8月25日(水) 19:30~21:30 参加者6名
- ⑤ 9月10日(金) 9:30~11:30 参加者4名
- ⑥ 9月29日(水) 11:30~13:30 参加者1名
- ⑦ 10月13日(水) 11:30~13:30 参加者1名
- ⑧ 10月29日(金) 9:30~11:30 参加者2名

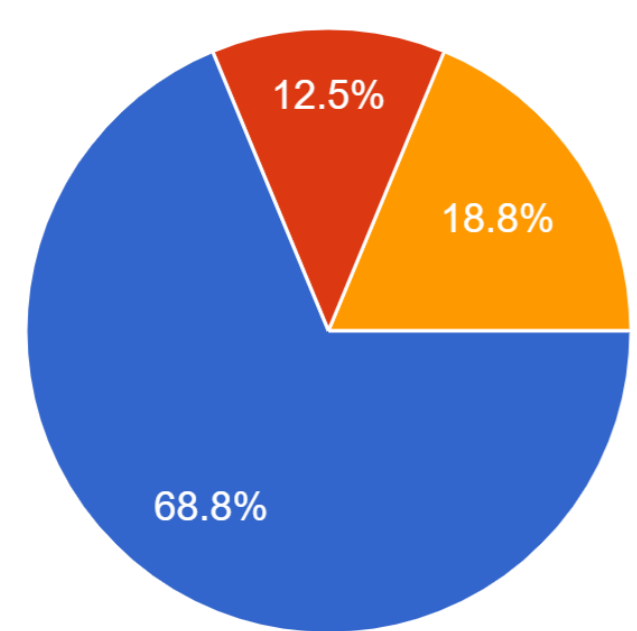
*参加者は全員が、障害児または未確定の乳幼児を育てている母親であった。

<http://sodateru-shiawase.sun.bindcloud.jp/>



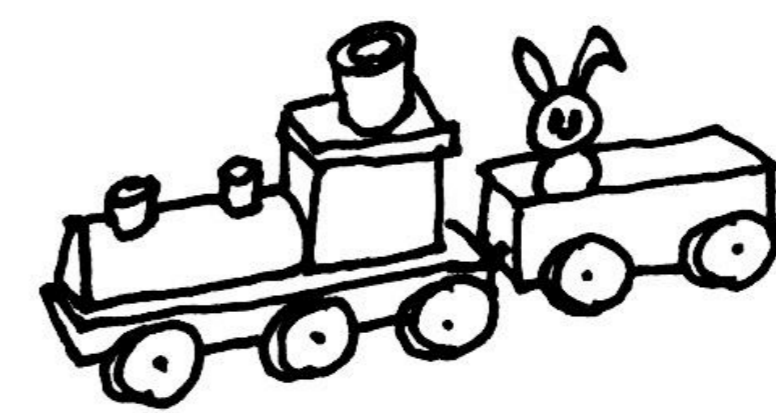
yrryrr@musashino-u.ac.jp

参加回数を教えてください
16件の回答

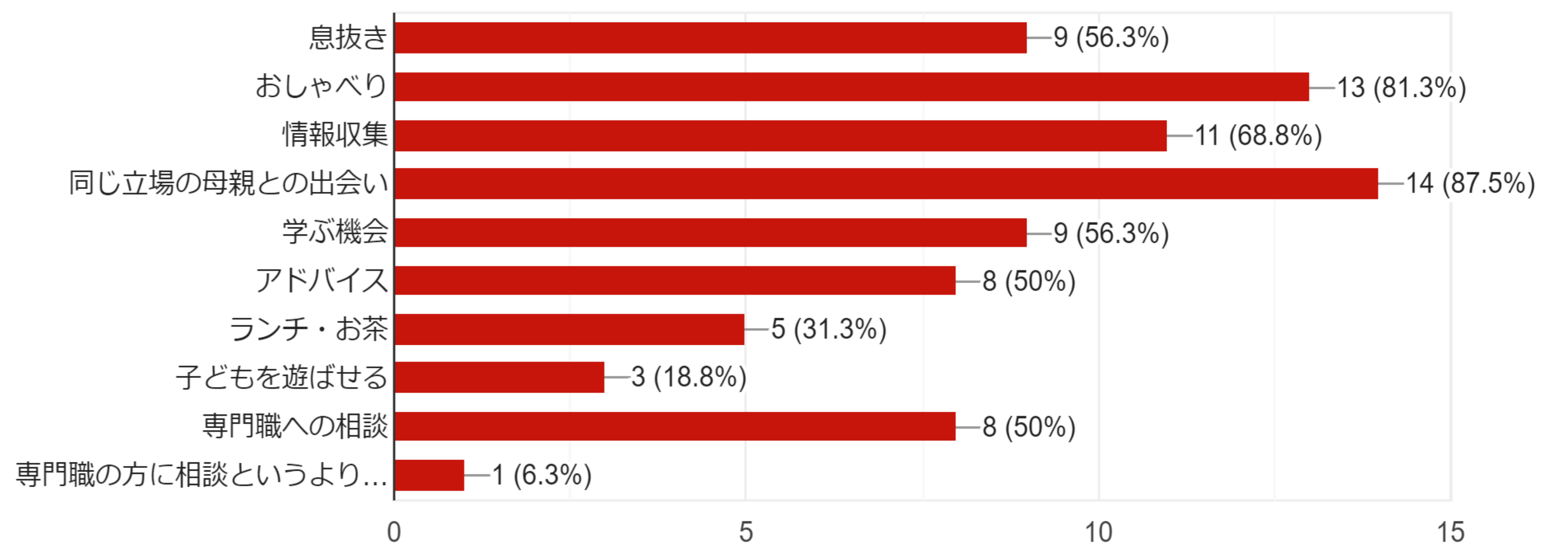


- はじめて
- 2回目
- 3回目
- 4回目
- 5回目

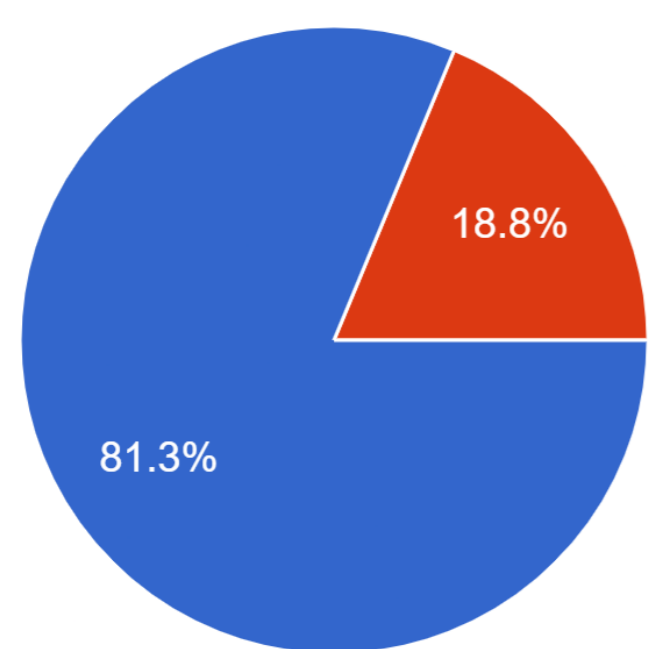
参加者によるアンケートから



「ゆるりゆらり」に何を期待されますか?あてはまるもの、いくつでも選んでください。
16件の回答



「ゆるりゆらり」の居心地はいかがでしたか?あてはまるもの1つに○をつけて下さい。
16件の回答



- とても良かった
- まあまあ良かった
- あまり良くなかった
- まったく良くなかった

オンラインサロンの意義と課題 (2021年10月までで開催6回、参加者のべ16名の状況から)

- 【参加しやすさ】時間さえ合えば、気軽に自宅から参加できるが、子どもの年齢や、参加者の仕事の状況などが多様であるため、開催日時の設定に工夫が必要。現時点では平日の日中か夜間が参加しやすいようである。
- 【知らない人との出会い】日常生活では顔を合わせない人と情報共有をしたいというニーズが見られた。同じ学校や地域の人がいると気兼ねして話しにくいこともあり、申込の時点での確認ができると参加しやすくなる。
- 【テーマ設定vsフリートーク】基本的に自由に話ができるようなグループ運営をしていたが、参加者が個別に話したいと考えているトピックが違っていると「あれを話したいけど今日はやめておこう」と思わせてしまうこともある。テーマを決めて参加者を募集する方法も今後は検討したい。
- 【申込方法と定員設定】現在は参加申し込みメールをもらってから、研究同意書とログインURLをお届けする方法をとっているが、直前の対応が難しい。また少人数のほうが画面上で話しやすいので、オンライン上で定員を設定して、自動的に受付が完了する仕組みが必要。
- 【対面開催と出張ひろば】オンラインでは、「場を共有する」という感覚が味わえず、1人ずつの発言で情報をやりとりするため、言語を使わない関係形成が難しい。厳しい感染症対策により、地域の子育てひろばの利用が制限されている状況のため、顔を合わせて話したいという希望も聞かれた。